

平成24年10月21日
今週のベストショット



雁レクE 雁ノ巣ライナーズ 対 新町パイレーツ戦
プレーオフ進出の喜びを体いっぱい表すパイレーツナイン
(写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)

雁レクE

雁ノ巣ライナーズ (7勝3敗3分) 0 0 0 0 0 0 樽野●-奥原
新町パイレーツ (11勝2敗0分) 2 3 0 0 X 5 吉田○-桐島

3BH：大濱（新町パ）

パイレーツが勝てばプレーオフ進出となる注目の試合。阻止すべく初回からライナーズは四球と相手エラーで一死二三塁の先制のチャンスを迎える。しかし後続が倒れ無得点。ピンチを脱したパイレーツはその裏、先頭の牟田選手がレフト前ヒットで出塁し、続く升井選手が送りバンドを決め一死二塁と先制のチャンス。3番白岩選手は倒れるも4番桐島選手のあたりはショートのエラーを誘い牟田選手が返り先制。さらに5番大濱選手がセンターオーバー三塁打を放ちこの回2点を先取する。さらに二回裏パイレーツは八坂選手のライト前ヒットを足がかりに相手のミスにも助けられ一死満塁と追加点のチャンス。ここでワイルドピッチで1点追加、さらに4番桐島選手のサードゴロをエラーする間に二者生還して2点追加し5-0と試合の主導権をにぎる。その後は、パイレーツ吉田投手が強打のライナーズ打線にチャンスを与えるも要所を締め見事完封。パイレーツは念願のプレーオフ進出を決めた。(記事・写真：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



今季最終戦の一番に緊張の面持ちの両軍選手。



注目の一戦にギャラリーも多数詰めかけた。



初回チャンスを広げる一打を放つライナース樽野選手。



パイレーツのプレーオフを阻止すべく力投するライナース樽野投手。



一回裏、中越え三塁打で声援に応えるパイレーツ大濱選手。



二回裏、3点目のホームインをする升井選手。



三回裏パイレーツ八坂選手の絶妙なバンド安打。



難しいゴロをさばくライナース明瀬遊撃手。



大一番に見事完封のパイレーツ吉田投手。



勝利の瞬間思わずガッツポーズのパイレーツ大野監督。



完勝に喜ぶパイレーツナイン。



プレーオフ進出を決め喜びのパイレーツ。

青松園 A

塩浜ジャガーズ (7勝 6敗0分) 1021062 30 道喜○、内田一竹尾

ブルーマーリンズ (1勝11敗1分) 30000 3 横山●、友重一尾田

HR: 竹尾、内田、佐藤 (塩浜ジ) 横山 (ブルー)

2BH: 稲富、内田、稗田、小森、松下 (2)、道喜 (2) (塩浜ジ)

一回表ジャガーズは、逆転で首位打者を狙う1番岩崎選手がバントヒットで出塁すると、続く2番稲富選手もバント安打で続き、3~6番まで四球。ここでブルーマーリンズは先発横山投手から友重投手へスイッチ。しかしジャガーズの勢いは止められず、一巡して3番竹尾選手のHRも飛び出し一挙10点。その裏反撃に出たいブルーは、1番末松選手、2番浜崎選手の連続左前のあと、5番横山選手の左越え3ランが飛び出す。しかし、攻撃の手を緩めないジャガーズは三回表にも4番内田選手、5番佐藤選手のHRを含む10安打を集中させるなどして、毎回の30得点。ブルーは三回裏から代わったジャガーズ内田投手の前に無安打に抑えられ、終わってみれば30-3と今年一番の点差でジャガーズが最終戦を勝利で飾り、7勝6敗と勝ち越しでリーグ戦終了。ブルーは先発の横山投手の制球が定まらないうちに大量点を与えてしまい、まだまだ課題を残す最終戦となった。



最終戦の健闘を誓う握手。



Bマーリンズ先発の横山投手、制球が・・・。



首位打者へ向けてバントヒットを狙うジャガーズ岩崎選手。



初回、早くも二番手友重投手にスイッチ。



一回表、HRを放ったジャグーズ竹尾選手。



負けじとBマーリンズ先頭の末松選手が左前ヒットで出塁。



続く2番浜崎選手も左前ヒットで無死一二塁。



Bマーリンズ5番横山選手の3ランで10-3にする。



初回到に3点を奪われるも好投したジャグーズ先発道喜投手。



セーフティバントを間一髪アウトにしたBマーリンズ尾田捕手。



三回表、HRを放つジャグーズ佐藤選手。



ベンチでパチリ！



三回表、HRを放ったジャガーズ4番内田選手。



三回裏からリリース、無安打に抑えた内田投手。



最終戦で勝ち越しを決めたジャガーズナイン。

(記事・写真：奈多サンデーズ 八島久徳)



今年は勝ち点をゲットできたBマーリンズナイン。

第25週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

10月21日は平成24年度のリーグ最終戦2試合が行われました。

雁レクEのライナーズ対パイレーツ戦は、プレーオフを目指すパイレーツの投打がガッチリ噛み合い、難敵ライナーズを0-5のシャットアウト勝利。ライナーズは初回の二三塁のチャンスに一本が出ませんでした。ピンチを凌いだパイレーツはエラーによる先取点と、5番大浜選手のタイムリー三塁打が効きましたね。二回裏にも相手のミスに漬け込み追加点を奪うなど、攻撃に隙を見せなければ、投げてでもエース吉田投手が二回以降三塁を踏ませず4安打完封。勝利したパイレーツナインの笑顔が輝いていました。

青松園Aのジャガーズ対ブルーマーリンズ戦は、初回Bマーリンズの横山投手の立ち上がりを攻めたジャガーズが10点を先制。その裏Bマーリンズもジャガーズ道喜投手から連打でチャンスを掴むと横山投手自ら3ランを放ち反撃するもここまで。その後は一方的にジャガーズの流れ。終わってみれば最終戦にして、30点の大台に乗せたジャガーズが30-3で勝利し、今季の勝ち越しを決めた。

さて平成24年度のリーグ戦も全日程が終了し、11勝2敗で奈多フェニックスと新町パイレーツが勝ち点22で並び、プレーオフとなりました。

フェニックスは試合間隔が1ヶ月空いたのと最終戦でプレーオフ進出を達成したパイレーツが勢いもあり有利か？しかし、フェニックスはこの空いた期間で池見投手の腰が万全の状態に回復しているかもしれません。

兎にも角にも今シーズンのチャンピオンを決める試合は見逃せません！

平成24年度優勝決定戦（プレーオフ）は、青松園グラウンドで10月28日（日）7時プレーボールです。
各チームの運営委員さんは、朝6時集合です。

その後、9時から11チーム参加の和白リーグカップ開会式が青松園で行われます。
Aパートは奈多グラウンド、Bパートは青松園A、Cパートは青松園Bで試合です。
各試合の審判チームの編集委員さんは、いつも通り写真と記事を送って下さい。
1試合目を2チームで審判を行う編集委員さんは、話し合っって確実に送って下さい。
では、皆さんのハツラツとしたプレーを期待します。

トーナメント表は、HPの試合日程の中にあります。